

トヤマオオミズクサハムシ

兵庫県：A

Plateumaris constricticollis toyamensis

環境省：－

種の概要

体長6.6～10.5mm程度。体色は銅色や黒色が多いが、赤、緑、青色の個体も見られる。山地の湿地に生息し、ヨシ、ミズバショウの生育する湿地に多い。成虫は春季から初夏にかけて見られる。



写真提供：八木剛

国内分布

本州

県内分布記録

神河町、養父市、宍粟市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
	○	○	○		

特記事項

昔は、チュウゴクオオミズクサハムシと呼ばれていたが、現在ではオオミズクサハムシの亜種とされている。その後の調査では少し確認されたが、生息地の数はきわめて少ない。

保護上の留意点

湿地環境の保全